

事務事業名		水産物供給基盤機能保全事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	0 1 地域活力を担う水産業の振興		区分	
	基本事業名	0 2 漁業経営の安定支援		期間限定複数年度	
根拠法令		-		※期間欄に計画期間を記入	
所属	部課名	農林水産部水産課		【計画期間】	
	課長名	新沼 秀樹		令和4 年度～ 令和7 年度	
	係名	漁港漁村係	電話	0192-27-3111	
	担当者	熊谷 孝弥	内線	364	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				※全体計画欄の総投入量を記入	
漁港施設の機能保全計画に基づく施設修繕及び計画見直しにかかる点検調査等を実施する。財源は、水産庁の水産物供給基盤機能保全事業費補助(1/2)を活用する。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
				総投入量(千円)	
				事業費	国庫支出金 0
				財源内訳	都道府県支出金 177,413
					地方債 177,400
					その他 0
					一般財源 13
					事業費計(A) 354,826
				人件費	正規職員従事人数 2
					延べ業務時間 960
					人件費計(B) 3,840
					トータルコスト(A)+(B) 358,666

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) ・蛸ノ浦北防波堤の修繕設計を行った。	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・蛸ノ浦北防波堤の修繕工事L=24mを行う。 ・蛸ノ浦物揚場(矢板式)5-19`20,24の計画見直しL=102mを行う。	ア 機能保全計画見直し実施箇所 箇所
	イ 修繕完了箇所(計画期間延べ) 箇所
	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・市管理の漁港施設等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 機能保全計画見直し必要箇所 箇所
	キ 修繕必要箇所(計画期間) 箇所
	ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・計画的な修繕を行うことで漁港機能を維持する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・漁港施設の長寿命化が図られ、ライフサイクルコストが低減する。 ・安全で快適な漁業活動が継続される。	サ 機能保全計画見直し率 %
	シ 修繕率 %
	ス

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
				単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円			0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円			0	3,129	38,400	126,550	6,383
		地方債	千円			0	3,100	38,400	126,500	6,300
		その他	千円			0	0	0	0	0
		一般財源	千円			0	30	0	50	84
		事業費計(A)	千円		0	0	6,259	76,800	253,100	12,767
	人件費	正規職員従事人数	人			1	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間			180	750	1,310	1,310	1,310
		人件費計(B)	千円		0	720	3,000	5,240	5,240	5,240
		トータルコスト(A)+(B)	千円		0	720	9,259	82,040	258,340	18,007
⑤活動指標	ア	箇所			0	0	1	0	0	
	イ	箇所			0	0	0.2	0.6	3	
	ウ									
⑥対象指標	カ	箇所			0	0	1	0	0	
	キ	箇所			3	3	3	3	3	
	ク									
⑦成果指標	サ	%			-	-	100.0%	-	-	
	シ	%			0.0%	0.0%	6.7%	20.0%	100.0%	
	ス									

事務事業ID	1844	事務事業名	水産物供給基盤機能保全事業
--------	------	-------	---------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成26年8月に水産庁が策定した「インフラ長寿命化計画(行動計画)」では、水産庁が所管するインフラの個別施設計画を令和2年度までに策定することとされており、また、関連事業の実施要領等では機能保全計画の策定が実施要件となっている。そのため、市営16漁港の内、補助対象となる8漁港は平成28～30年度に、残りの漁港については令和2年度に機能保全計画を策定したところである。この計画に基づき、施設の機能診断において健全度の評価がA判定(施設の主要部に著しい老朽化が発生)となった蛸ノ浦北防波堤外2施設について修繕工事を実施していく。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	策定済みの計画については、施設の構造型式や健全度に応じて、順次、定期点検および機能保全計画の見直しが必要となる。特に、鋼構造(矢板・杭式)の施設については健全度の評価に関わらず、腐食状況に応じて計画見直しにかかる再調査を行わなければならない。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？ 漁港施設の維持管理体制の充実、漁港施設の充実につながり、良好な漁業就業環境を保ち漁業経営の安定化に資することができる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市管理漁港の適正な維持管理は市が行わなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象、意図とも適切であり、見直しする余地がない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 市単独事業費を増額すれば、補助対象外の漁港についても対応が可能となり、成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 本事業を廃止・休止すれば、将来的に施設の不具合箇所が発生した際に、漁業活動に支障をきたす。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 適切に修繕と点検を実施することで施設の長寿命化、ライフサイクルコストの低減を図ることが出来るため削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最低限の人員で事業実施したものであり、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 漁港施設は、主として漁業者が利用しているが、多面的な機能を有し、広く一般市民も利用する公共的な施設であることから、受益者負担にはなじまないものである。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	修繕事業と並行して、定期的な施設点検により機能保全計画を適切に見直ししていく必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	令和2年度に策定した機能保全計画を踏まえ、計画的な事業実施が必要である。